

目的・目標

文化芸術の分野において、クリエイターの創作・発表を支援する基盤を強化するとともに、資金調達や販路開拓、進行管理等を担う専門人材（コーディネーター、マネージャー等）を育成する。さらに、必要なスキルや知識を可視化し、人材育成のノウハウを蓄積・展開することで、全国の類似施設・団体における人材育成の促進と、文化に関わる専門職の社会的認知および地位の確立を目指す。

概要

本事業では、国際展開を視野に入れたデザイン関連プロジェクトを推進しながら、プログラムマネージャーを対象としたOJTを実施する。また、国内外の関係機関や類似施設との連携を通じて、人材育成に関するスキルや知見のリサーチを行い、その成果をもとに支援ツールとしてのアプリケーションを開発し、全国的な横展開を図る。

(区分・分野)

・デザイン等(分野横断的新領域)

(対象となる職種)

・専門人材(コーディネーター、マネージャー等)

(育成人数)

・40名/3年

3年目までの取組

1年目は、専門人材育成に関する国内外のリサーチと公開共有、プログラムマネージャーの公募を実施。2年目は、公募プログラムの募集、基礎・専門講座や海外研修、伴走支援を展開。3年目は、海外展開と発信力の強化、成果報告会やフォーラムの開催、研修キットとしてのβ版アプリの公開を行う。

5年目までの取組



4年目は、3件程度の推進プロジェクトを立案し、クリエイターと専門人材のチームによる海外展開を強化。メンター配置、研修キットの活用・改良、ネットワーク拡充を目指す。5年目は、成果指標およびその調査結果、さらに研修アプリの公開を行う。併せて、文化に関わる専門人材の社会的認知を広めることのできるフォーラムを開催する。

成果目標 (見込)	目標値
コンテンツ創造・海外展開のための実践的な育成プログラムの開発・実装数	3年目：4件 5年目：5件
国内外の教育機関・専門機関・企業・団体等との連携数	3年目：20件 5年目：40件
育成プログラムの参加者が世界的に認知されている海外の芸術祭・文化施設等へ出品・参画し高い評価を受けた件数	3年目：1件 5年目：5件
育成プログラムの実証に参加した人数	3年目：40人 5年目：80人

中核となる指導者等

・森口邦彦（統括アドバイザー）
重要無形文化財「友禅」保持者、伝統工芸と現代デザインの融合を追求。フランスの国立セーヴル陶磁器製作所とのコラボレーション等も実施。京都芸術センター初代運営委員長。



国際的な場での実践の取組例

・Creative Australiaとの連携による育成プログラムの実施（2026年度以降）
・海外（シンガポール・アメリカ等）のインテリア関連展示会に出展（2026年度予定）



公益財団法人京都市芸術文化協会

チーフプログラムディレクター

連携

連携

アドバイザー

プロジェクト庶務
(アドミニストレーター)

プログラムディレクター
事業

プログラムディレクター
広報

プログラムディレクター
アプリ・評価

京都芸術
センター

KACCO
TARO
AIR-J

アート×ビジネス器
ようこそアーティスト